

行政調査を実施

議員会会長 小川 洋一

神奈川県葉山町と栃木県
東京事務所などを調査

10月22日から23日の2日間にわたり全議員による行政調査を実施しました。

◎議会改革について

当町議会においては、今年6月の定例会で、議会改革特別委員会を設置しましたが、今回の行政調査は、議会改革の先進地である葉山町議会を訪問しました。葉山町は、10年ほど前から議会改革について議論し、平成21年度に議会基本条例を制定しました。

条例制定の基本は、次の3点

- ① 議員全員の合意
- ② 上位法に反しないこと
- ③ 町民に分かり易く簡潔なもの

であることということでした。

なお、条例を制定した際

には、議員全員が賛成し、議決したということです。当町の議会においても、じっくりと時間をかけて議論し、議員全員の合意により、議会基本条例を制定していく必要があると考えております。



葉山町議会での調査

◎県産品の販売推進について

次に、栃木県東京事務所を訪問。須藤栃木県企業誘致・県産品販売推進本部（とちぎのいいもの）本部長、

藤田東京事務所長が同席され、事業推進室の西須室長から「とちぎのいいもの」販売推進事業の説明を受けました。

地元特産品の販売促進について、例えば表示の方法は、「栃木県産のコメ」ではなく、「那珂川町産のコメ」とした方がブランドのイメージが強く、消費者にとっても印象深し、少々の高めに価格が設定されていても、購入する傾向にあるということでした。

農産物等の販売については、行政を頼るばかりではなく、自分たちで販売先などを切り開いていくということが大事であると思いますし、さらには、各地で開催されるイベントなどにもどんどん参加し、那珂川町産など、その地区の名称を付けて販売することも必要であると感じました。

◎イノシシ肉の料理について

東京ソラマチレストランの30階にある、那須烏山市出身の佐藤氏が経営する

「食幹」で、当町などで捕獲され、販売しているイノシシ肉を使用した料理を試食して参りました。

説明がないとイノシシ肉とわからないほど味わい深く、都会の方にも慣れ親しんでいただけのものと確信しております。

◎「とちまるショップ」について

最後に、栃木県のアンテナショップとして県と市町が共同で出店している、東京スカイツリータウン4階にある、「とちまるショップ」を視察しました。

店内には、県内の特産品や野菜が並んでおり、当町の小砂焼や焼酎なども展示販売されています。

今回の訪問に際しては、県の協力によって、馬頭広重美術館のポスターを店の入口に展示させていただきました。

町民の皆さんにおかれてもぜひ機会があれば、「とちまるショップ」の方にもお立ち寄りいただければと思います。

教育民生常任委員会を開催

教育民生常任委員会（橋本操委員長）は、10月16日、9月定例会で継続調査となっていた「国民健康保険への国庫負担増額を求める陳情書」について詳細な内容を聴取するため、陳情者である栃木県社会保障推進協議会の事務局に出席をお願いし、説明を受けました。なお、委員会で協議の結果、結論が出なかったため再度委員会を開くこととなりました。



教育民生常任委員会を開催